

校内研究計画

1 研究主題

自ら学び、考え、表現できる生徒の育成 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある授業づくりを通して～ － 2 年次／3 年計画 －

2 主題設定の理由

(1) 今日の課題から

Society5.0 時代が到来しつつあるとともに、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている。このように急激に変化する時代の中で、子供たち一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。「平成28年答申」においては、次代を切り拓く子供たちに求められる資質・能力として、文章の意味を正確に理解する読解力、教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し、新しい解や納得解を生み出す力などが挙げられた。

文部科学省は令和元年12月、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びを持続的に実現させることを目指して「GIGA スクール構想」を発表し、これまでの実践と ICT とのベストミックスを図っていくこととした。

令和3年度より全面実施となった中学校学習指導要領（平成29年告示）では、学校教育を通して生徒が「何ができるようになるのか」という各教科等において育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に整理している。

「令和3年答申」（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現～）では、「これまで以上に多様性を尊重し、ICT 等も活用しつつカリキュラム・マネジメントを充実させ、発達の段階に応じて、全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことが重要である」と提言された。

これらを踏まえて、未来の社会を見据えた生徒の資質・能力を育成するに当たっては、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動の充実の方向性を改めて捉え直し、ICT の新たな可能性を指導に生かすことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげていく必要があると考える。

(2) 学校教育目標の具現化から

学校教育目標「自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成」の下、目指す生徒像を「自ら課題を見つけ、自ら考えて積極的に学習する生徒」「お互いの違いやよさを認め合い、思いやりを持ち、共に高め合える生徒」「健康と安全に留意し、心身を鍛え、困難を克服していこうとする生徒」と掲げている。また、副題にある「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して、主体的に学びに向かい考える生徒、多様な個性を認め合う思いやりのある生徒、自分の将来の姿と関連付けながら、見通しを持って粘り強く学習に取り組む生徒を育成できると考える。よって、本研究主題に示す生徒を育成することは、学校教育目標の具現化を図るものであると考える。

(3) 生徒の実態から

本校生徒は、授業に集中して取り組むとともに部活動にも熱心に励む生徒が多い。令和3年1月から1人1台端末の環境が整えられ、早速タブレットドリルを活用したり、ロイロノートを中心としたアプリケーションを使った意見交換等に楽しそうに取り組んだりするなど、多くの生徒は、ICT 機器を活用しながらの授業に好感を示している。【資料1】

しかし、しっかりした考えに基づいた主張をする、話し手の意図を考えて話すなど、表現力・思考力が十分であるとはいえない。4月に行われた標準学力調査の結果から、全学年で記述式の正

答率が目標値よりも10ポイント近く低い結果が出ている。論理的に説明することを苦手と感じている生徒が多いため、知識及び技能の習得とともに、根拠に基づいて他者に説明するなどの言語活動、相手の意図を考えて話す（伝える、伝え合う）活動を積極的に取り入れながら、思考力、判断力、表現力等の育成に向け継続的に指導していく必要がある。また、本校には様々な異なる認知スタイルを持つ多様な生徒が在籍していることから、個別の教育的ニーズを把握し、一人一人の可能性をよりよく伸ばしていくことが求められる。そこで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現につなげていきたいと考える。

【資料1】 令和4年4月19日実施 全国学力・学習状況調査・生徒質問紙調査より

質問事項		本校 (%)	宮城県 (%)	全国 (%)	
1	授業中に自分で調べ る場面で、PC・タブレ ットなどのICT機器を どの程度使っていま すか。	ほぼ毎日	43.6	14.1	12.3
		週3回以上	33.3	27.8	24.9
		週1回以上	12.8	33.8	34.5
		月1回以上	10.3	18.9	20.6
		月1回未満	0.0	5.2	7.6
2	学級の生徒と意見を 交換する場面で、PC・ タブレットなどのICT 機器をどの程度使っ ていますか。	ほぼ毎日	41.0	5.7	5.0
		週3回以上	43.6	15.3	12.8
		週1回以上	12.8	28.4	25.7
		月1回以上	0.0	27.5	27.6
		月1回未満	2.6	23.1	28.7
3	自分の考えをまとめ、 発表する場面で、PC・ タブレットなどのICT 機器をどの程度使っ ていますか。	ほぼ毎日	17.9	4.7	4.7
		週3回以上	41.0	11.7	10.3
		週1回以上	20.5	23.2	20.3
		月1回以上	17.9	32.5	32.3
		月1回未満	0.0	27.8	32.3
		無回答	2.6	0.1	0.1
4	学習の中でPC・タブレ ットなどのICT機器を 使うのは勉強の役に 立つと思いますか。	「役に立つ」「どちら かといえば、役に立 つ」割合	94.9	94.5	92.6

(4) これまでの研究から

本研究主題には平成30年度より継続して取り組んでいる。令和2年度は研究のまとめの年として「自分の思いや考えを伝え合う言語活動の実践を通して」を副題として、授業実践を軸とした研究を進める計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、教育活動の変更を余儀なくされ、授業における話し合い等も制限せざるを得ない状況であった。そのような中、昨年度から「個別最適な学びに関するモデル事業」に取り組み、研究主題を継続しながら、教師や生徒が様々な場面において積極的にICTを活用することに焦点を当てた実践を行ってきた。特に、昨年度は1人1台端末を活用した対話的な学習を重視した授業力の向上を努めた。また、ロイノートやGoogle Classroomに学習履歴（スタディ・ログ）を保存することで、個別の評価や分析に役立てることができたため、個に応じた教材の工夫など具体の支援に結び付いた。

今年度は、昨年度の取組の成果と課題を踏まえるとともに、生徒の実態と照らし合わせながら、各教科等における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の捉えを明確にし、それらの一体的な充実を図ることで「自ら考え、表現できる生徒」を育成したいと考え、本主題を設定した。

3 研究主題・副題について

(1) 主題の捉え方

研究主題に掲げた「自ら学び、考え、表現できる生徒」については以下のように捉えた。

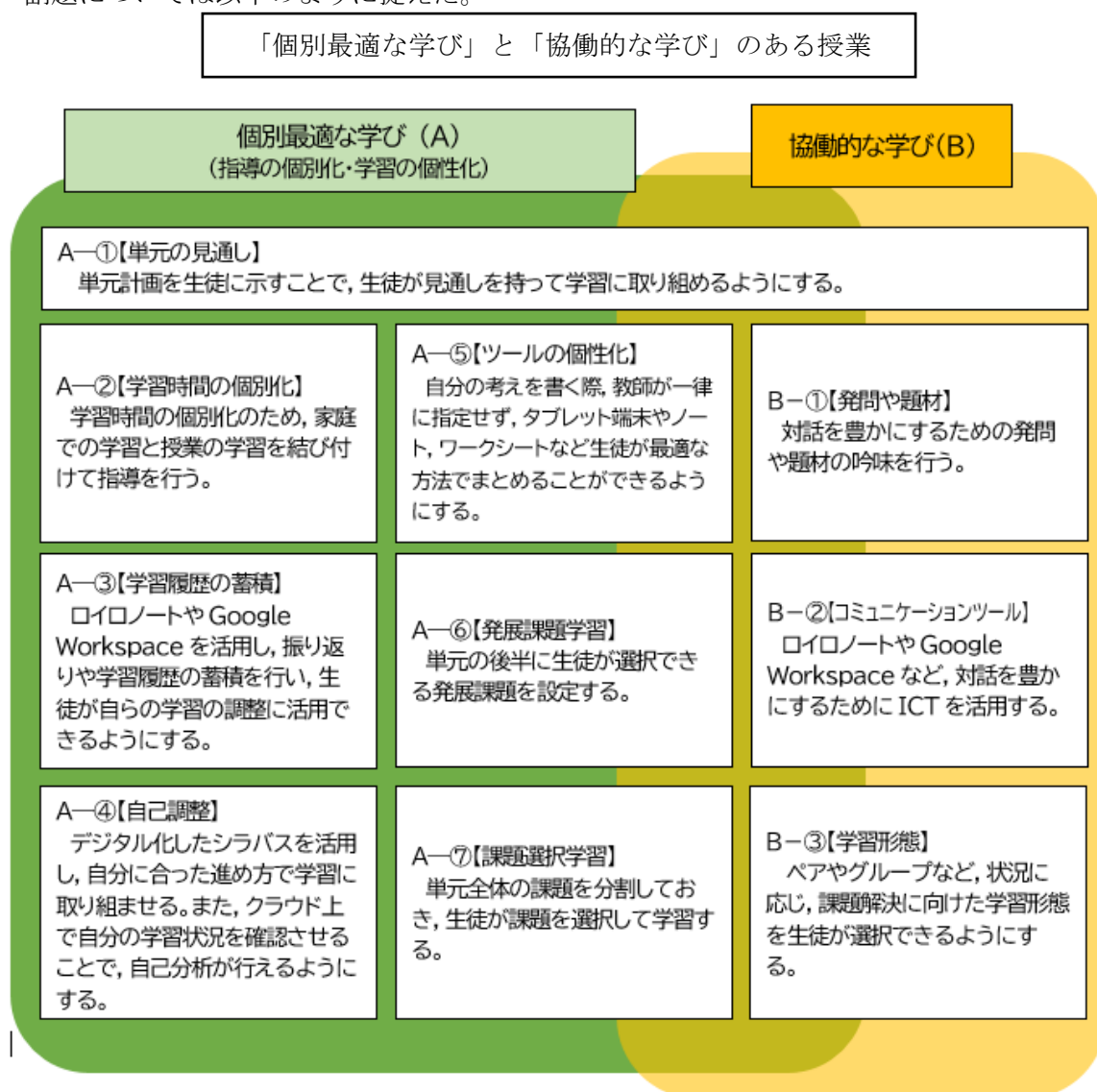
自ら課題を見だし、目標を持って学習に取り組むことで、身に付けた知識や技能をもとに、相手意識を持って、自らの思いや考えを積極的に伝えることができる生徒

「自ら学び」とは、「自ら課題を見いだして取り組む」、「目標を持ち意欲的に学習に取り組む」と、捉えている。学習指導要領では、生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫することとある。しかし、本校の生徒の意識調査の結果から、自ら計画を立てて学習を行っていると答えている生徒は全国より高い割合になるが、毎日継続して学習に取り組んでいる割合は全国より低く、生徒の意識と実際の取組に乖離が見られた。

「考え、表現できる生徒」とは、「身に付けた知識や技能をもとに伝えることができる」、「相手意識を持って、自らの思いや考えを積極的に伝えることができる」と、捉えている。学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各教科等において身に付いた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を発揮させたりして、学習の対象となる物事を捉えることにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方が鍛えられていくとある。本校の生徒の意識調査の結果から「話合いで意見が合わなかったとき、みんなが納得できるように考えて、提案していますか」という問いに対して、半数の生徒ができていないと答えている。

(2) 副題の捉え方

副題については以下のように捉えた。



生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度に応じて、指導方法・教材や学習時間の柔軟な提供・設定を行う。一単位時間や単元の終結の振り返りを重視するとともに、家庭での学習との効果的な連携の視点を持ち、自ら学習を調整して家庭での学習に生かすというサイクルを確立できるようにする。

4 研究目標

各教科等において、「自ら学び、考え、表現できる生徒」を育む学習指導の在り方を「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある授業づくりを通して明らかにする。

5 研究の視点

「自ら学び、考え、表現できる生徒」を育むために、以下の視点に立った指導を工夫する。

【視点1】「個別最適な学びによる授業づくりの工夫」

- ① 一人一人の学びを保障するための ICT の活用を行う。
- ② 単元構想を見直し、発展課題学習や課題選択学習を取り入れることで、生徒の自ら学ぶ力を高める指導を行う。
- ③ 単元の見通しを持たせるとともに、学習の振り返りを蓄積させることで、生徒一人一人が自分の学習を自己調整できるように支援する。
- ④ 家庭における学習との効果的な連携を図る。

【視点2】「協働的な学びによる授業づくりの工夫」

- ① 対話を豊かにするための発問や題材を吟味し、生徒が疑問や問題意識を持つような課題等を設定する。
- ② ロイロノートや Google Workspace など、対話を豊かにするための ICT の活用を行う。
- ③ ペアやグループなど、状況に応じ、課題解決に向けた学習形態を生徒が選択できるようにする。

6 研究方法

- (1) 今日的な状況を把握しながら学校課題を捉える。
- (2) 研究に関する諸調査を実施して生徒の実態を把握する。
- (3) 研究に関する先進校を視察し、先行研究資料等を活用して理論研修をする。
- (4) 各教科等で、評価規準に基づき思考力、判断力、表現力等を育むための「重点指導目標」を設定し、日常の授業で実践する。
- (5) ICT を効果的に活用した授業づくりを各教科等で共通の取組として実践する。
- (6) 各教科等で、実践記録を累積し、適宜情報の共有を図る。
- (7) 定期的に授業研究会を開催し、手立ての有効性、成果や課題を相互に検討する。
- (8) 小・中学校間で、互いの授業を参観したり、出前授業を行うなどして連携を図る。
- (9) 日常の観察、生徒へのアンケート調査、自己評価（ポートフォリオ等）、学習履歴（スタディ・ログ）、教師の自己評価などによって実践の成果や課題を検証する。

7 研究の構想図

学校教育目標 「自ら学び 心豊かで たくましい生徒の育成」

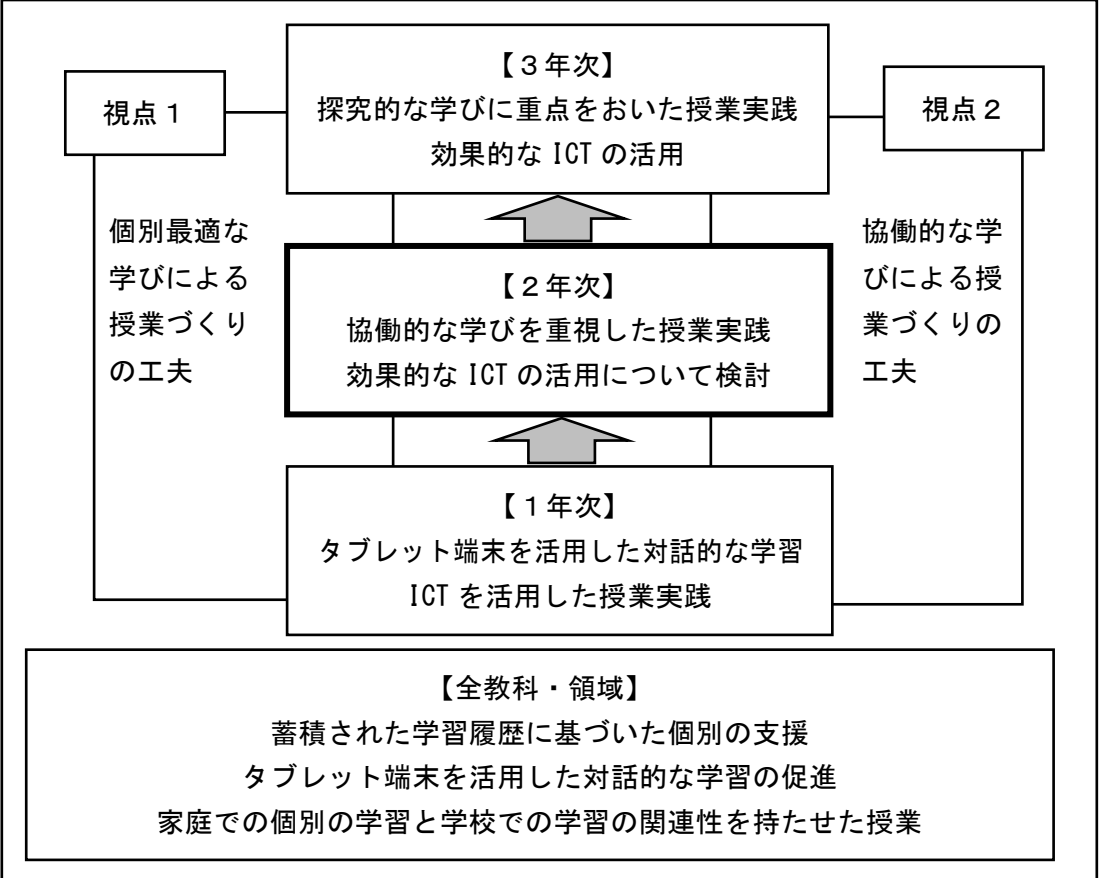
目指す生徒像 〈知〉知育 〈徳〉徳育 〈体〉体育
 (1) 自ら課題を見つけ、自ら考えて積極的に学習する生徒〈知〉
 (2) お互いの違いやよさを認め合い、思いやりを持ち、共に高め合える生徒〈徳〉
 (3) 健康と安全に留意し、心身を鍛え、困難を克服していこうとする生徒〈体〉



研究主題【自ら学び、考え、表現できる生徒の育成】
 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある授業づくりを通して～



全教科等において、「自ら学び、考え、表現できる生徒」を育む学習指導の在り方を「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある授業づくりを通して明らかにする。



- ・ 生徒の情報活用能力の育成
- ・ 情報モラルの育成
- ・ 教員の ICT 活用能力の向上
- ・ タブレット端末を活用した業務の効率化
- ・ タブレット端末の日常的な持ち帰り
- ・ タブレット端末の活用に関する保護者の理解、協力
- ・ タブレット端末を活用した委員会活動の活性化
- ・ ICT 環境の整備

8 研究組織と主な活動内容

校 長

研究推進委員会	校長・教頭・主幹教諭 教務主任・研究主任 学年主任・研究部員	<ul style="list-style-type: none"> 研究推進計画の企画・立案・運営・検討 各部との連絡・調整等
---------	--------------------------------------	--

全体研究会	○研究主任，全職員	<ul style="list-style-type: none"> 研究推進計画の検討 各部の活動報告 文献研究等の共通理解等
-------	-----------	---

専 門 部	調 査 部	○伊東，上長根，鈴航	<ul style="list-style-type: none"> 諸調査の実施，分析と考察 全体研修会の記録と累積
	授 業 部	○小葉，佐慶，千葉， 及川，工藤	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究会計画の立案と実施 指導案の様式検討 事前，事後検討会と模擬授業の企画・運営 研究授業の記録 授業実践の記録（写真・映像）等 タブレット端末を活用する授業づくり研修
	広 報 部	○高杉，長倉，高橋	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域への情報発信 評価に関する文献資料の収集及び提供等

領 域 部	道 徳 部	○伊東	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら学び，考え，表現できる生徒」を育むための伝え合う力を重視した言語活動の検討と実践 年間指導計画の検討等 各領域の重点実践事項（伝え合う力を重視した言語活動）の立案と実践
	特別活動部	○上長根，長倉	
	総合的な 学習の時間	○及川，小葉 伊東，茂木	

教 科 部	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら学び，考え，表現できる生徒」を育むための伝え合う力を重視した授業づくりの検討と実践 年間指導計画の検討等 各教科の重点実践事項の立案と実践
-------------	--

学 年 部	<ul style="list-style-type: none"> 学年，学級経営 学習環境の整備
-------------	--

9 研究推進計画

※注) □校内研究・☆校内研修会・○授業研究会

月	研究推進計画		校内研修計画 (校内研修会・授業研究会) ◆稲垣先生オンライン・◎来校	
	授業実践に関すること	教科外・諸調査等に関すること		
4	<input type="checkbox"/> 各教科における重点実践事項の検討 <input type="checkbox"/> 「授業の約束」の検討, 修正, 掲示, 実施 <input type="checkbox"/> 視点1・2の検討 <input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施 ・全国学力・学習状況調査(3年)	<input type="checkbox"/> 学力向上対策についての啓発(家庭配付) <input type="checkbox"/> 「家庭学習のすすめ」の改訂及び作成, 家庭配布(生徒・保護者) <input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> 家庭学習等の見取り	☆第1回校内研修会 ・校内研究計画の共通理解 ・校内授業研究会の持ち方 ・学習指導案の様式提示 ☆第2回校内研修会 ・評価の在り方の検討
5	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施 <input type="checkbox"/> 標準学力調査(全学年)の実施 <input type="checkbox"/> 気仙沼市児童生徒質問紙調査の実施・集計・分析	<input type="checkbox"/> 「家庭学習のすすめ」の実践 <input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> 家庭学習等の見取り	☆第3回校内研修会 ◆稲垣先生オンライン指導 ・校内授業研究会①と事前検討会と事後検討会(分科会) ・タブレット端末の効果的な活用について
6	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> 家庭学習等の見取り	☆第4回校内研修会 ・校内授業研究会②の事前検討会と事後検討会(分科会) ◆稲垣先生オンライン指導 ・気仙沼市児童生徒質問紙調査の考察 ・指導主事訪問の事前検討会 ・指導主事訪問指導案集完成
7	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施 <input type="checkbox"/> 学習状況の実態調査	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> 長期休業中の課題一覧作成, 家庭配布(生徒・保護者) <input type="checkbox"/> 家庭学習等の見取り	☆第5回校内研修会 ・校内授業研究会③と事前検討会と事後検討会(分科会) ◆稲垣先生オンライン指導 ・気仙沼市児童生徒質問紙調査の考察, 課題の共通理解 ・指導主事訪問(指定校訪問) 7/13 ◎稲垣先生来校指導 研究授業・事後検討会・分科会 情報交換会
8	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> 家庭学習等の見取り	☆第6回校内研修会 ・教育課程研修会伝講 ・校内研究推進状況の振り返り(情報交換) ・タブレット端末の効果的な活用について

月	研究推進計画			校内研修計画 (校内研修会・授業研究会) ◆稲垣先生オンライン・◎来校
	授業実践に関すること	教科外・諸調査に関すること	家庭学習に関すること	
9	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施 <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査の分析と考察	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> 家庭学習等の見取り	☆第7回校内研修会 ・校内授業研究会④の事前検討会と事後検討会(分科会) ◆稲垣先生オンライン指導 ・生徒の学力実態把握(全国学力学習状況調査結果分析)
10	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> 家庭学習等の見取り	☆第8回校内研修会 ◎稲垣先生来校指導 ・校内授業研究会⑤の事前検討会と事後検討会(分科会)
11	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> Google スプレッドシートを活用した家庭学習等の見取り	☆第9回校内研修会 ・校内授業研究会⑥の事前検討会と事後検討会(分科会) ・指導主事訪問(一般訪問) 11/10
12	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> 各教科における実践報告書の作成と提出	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施 <input type="checkbox"/> 気仙沼市児童生徒質問紙調査の実施・集計・分析 <input type="checkbox"/> 標準学力調査(全学年)の実施	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> Google スプレッドシートを活用した家庭学習等の見取り	☆第10回校内研修会 ・校内授業研究会⑦の事前検討会と事後検討会(分科会) ◆稲垣先生オンライン指導 ・気仙沼市児童生徒質問紙調査の考察, 課題の共通理解
1	<input type="checkbox"/> 各教科による視点1・2の実践 <input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> 校内研究のまとめ作成	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> Google スプレッドシートを活用した家庭学習等の見取り	☆第11回校内研修会 ・各種学力調査等に見られる課題の共通理解 ・校内研究のまとめ ・中間公開研究会 1/18 ◎稲垣先生来校指導
2	<input type="checkbox"/> 5つの提言のについて <input type="checkbox"/> 今年度年間指導計画のまとめ, 次年度の計画	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> Google スプレッドシートを活用した家庭学習等の見取り	☆第12回校内研修会 ・研修会の伝講(現職教育)
3	<input type="checkbox"/> 5つの提言について <input type="checkbox"/> 次年度年間指導計画の立案	<input type="checkbox"/> 「朝読書」実施 <input type="checkbox"/> 「帰りの会5分間タブレット学習」実施	<input type="checkbox"/> 家庭学習の実施 <input type="checkbox"/> Google スプレッドシートを活用した家庭学習等の見取り <input type="checkbox"/> 家庭学習の成果と分析	☆第13回校内研修会 ・次年度計画の検討, 立案